

介護保険制度の 持続に向けて



(予防・健康づくりの推進)

高齢者の通いの場を中心とした、介護予防・フレイル対策（運動・口腔・栄養等）や生活習慣病等の疾病予防・重症化予防、就労・社会参加支援を都道府県等と連携しつつ市町村が一体的に実施する仕組みを検討するとともに、インセンティブを活用することにより、健康寿命の地域間格差を解消することを目指す。

平成30年10月22日未来投資会議

(抜粋)

【疾病予防・重症化予防】

- ・個人の予防・健康づくりに関する行動変容につなげる取組の強化

【介護予防・フレイル対策、認知症予防】

- ・身近な場所で高齢者が定期的に集い、身体を動かす場等の大幅な拡充

平成30年4月12日経済財政諮問会議

(抜粋)

2040年までに健康寿命を3年以上延伸

①健康無関心層も含めた予防・健康づくりの推進

【目指す2040年の姿】

(例) ・通いの場への参加率 15%

人生100年時代を見据えて

大阪府の介護保険をとりまく現状

介護保険制度創設時から現在までの対象者・利用者の増加

		2000年4月末		2018年4月末	増加率	
65歳以上被保険者の増加	全 国	2,165.5万人	→	3,492.0万人	1.61倍	
	大阪府	128.9万人	→	234.4万人	1.82倍	
要介護（要支援）認定者	全 国	218.2万人	→	643.7万人	2.95倍	
	大阪府	12.1万人	→	50.3万人	4.16倍	
サービス利用者	在宅サービス利用者	全 国	→	97万人	363.5万人	3.75倍
		大阪府	→	4.6万人	29.3万人	6.37倍
	施設サービス利用者	全 国	→	52万人	93.1万人	1.79倍
		大阪府	→	2.3万人	5.1万人	2.22倍
	地域密着型サービス利用者	全 国	→	—	83.3万人	—
		大阪府	→	—	5.6万人	—
	合計	全 国	→	149万人	540.0万人	3.62倍
		大阪府	→	6.9万人	40.0万人	5.80倍

※全国と比較して、大阪府の増加率は非常に高い

		第1期		第7期	増加率
月額保険料	全 国	2,911円	→	5,869円	2.02倍
	大阪府	3,134円	→	6,636円	2.12倍

①大阪府の要介護認定率と介護給付費・医療費

		全国	大阪府	順位
要介護・要支援認定率（調整後）	全体	18.0%	22.3%	1位
	うち要支援2以下	11.7%	14.9%	1位
第1号被保険者一人あたり介護給付額（調整後）	全体	24.0万円	27.3万円	1位
	うち在宅	12.7万円	16.8万円	1位
被保険者一人あたり後期高齢者医療費（調整後）	全体	91.8万円	103.3万円	10位
	うち在宅	42.7万円	47.5万円	2位

※全国1位

○大阪府では、これまで高齢化の進展以上に要介護認定率の伸びが顕著なため給付費が伸長していますが、今後10年間で急激な高齢化の進展が見込まれており、何らかの対策を取らないと介護保険料の持続可能性が危うくなります。

■2015年から2025年にかけての高齢者人口

※全国で5番めに増加が激しい（単位：千人）

	1 埼玉県	2 千葉県	3 神奈川県	4 愛知県	5 大阪府	～	11 東京都	～	47 山形県	全国
2015年	765	717	1,016	817	1,070		1,473		190	16,468
高齢化率	10.6%	11.6%	11.1%	10.9%	12.1%		11.0%		17.0%	13.0%
2025年	1,177	1,082	1,485	1,166	1,528		1,977		207	21,786
高齢化率	16.8%	18.1%	16.5%	15.9%	18.2%		15.0%		20.6%	18.1%
() 倍率	(1.54倍)	(1.51倍)	(1.46倍)	(1.43倍)	(1.43倍)		(1.34倍)		(1.09倍)	(1.32倍)

（資料）社会保障審議会 介護給付分科会 2017年4月

藤井寺市の現状

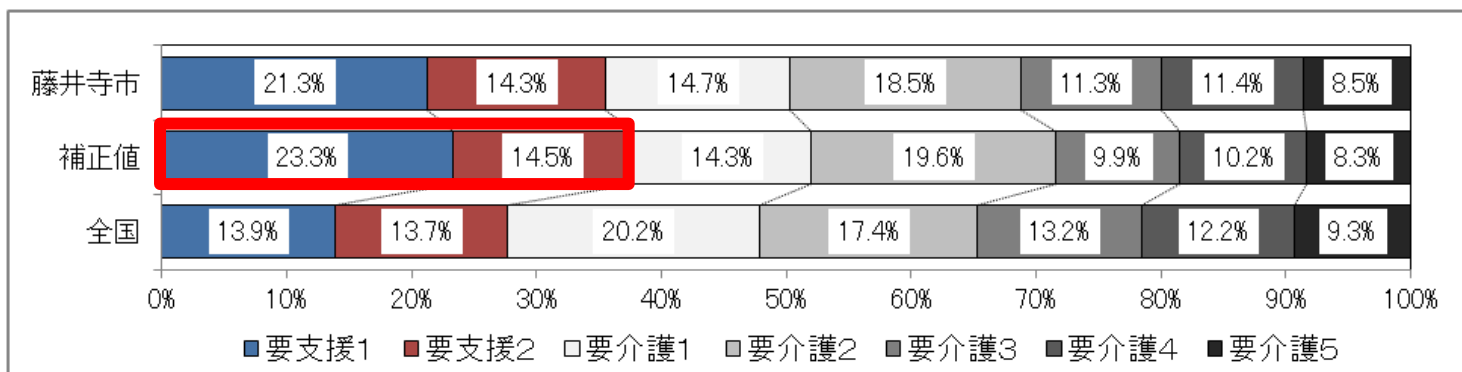
● 認定率（第1号被保険者）

※要支援1は、全国1位の大阪府と比較してもなお高い

	認定者数	認定者に占める割合				認定率 (65歳以上人口に占める割合)		
		藤井寺市	藤井寺市 【年齢補正】	大阪府	全国	藤井寺市	大阪府	全国
(65歳以上人口)	18,022	-	-	-	-	(100.0%)	(100.0%)	(100.0%)
■ 認定者	3,568	(100.0%)	(100.0%)	(100.0%)	(100.0%)	(19.8%)	(20.9%)	(18.1%)
■ 軽度認定者	1,793	(50.3%)	(52.0%)	(50.9%)	(47.9%)	(9.9%)	(10.7%)	(8.6%)
■ 中重度認定者	1,775	(49.7%)	(48.0%)	(49.1%)	(52.1%)	(9.8%)	(10.3%)	(9.4%)
要介護度 区分別	要支援1	759	(21.3%)	(23.3%)	(19.4%)	(13.9%)	(4.2%)	(2.5%)
	要支援2	509	(14.3%)	(14.5%)	(14.8%)	(13.7%)	(2.8%)	(2.5%)
	要介護1	525	(14.7%)	(14.3%)	(16.7%)	(20.2%)	(2.9%)	(3.7%)
	要介護2	661	(18.5%)	(19.6%)	(17.2%)	(17.4%)	(3.7%)	(3.1%)
	要介護3	402	(11.3%)	(9.9%)	(11.9%)	(13.2%)	(2.2%)	(2.4%)
	要介護4	407	(11.4%)	(10.2%)	(11.1%)	(12.2%)	(2.3%)	(2.2%)
	要介護5	305	(8.5%)	(8.3%)	(8.9%)	(9.3%)	(1.7%)	(1.7%)

※認定者数：介護保険事業状況報告（暫定）（平成29年12月分）、65歳以上高齢者数：住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数（平成30年1月1日）

● 認定者に占める割合（要介護度区分別）



●介護サービスの多寡（高齢者一人当たり全国＝1）

	大阪府	藤井寺市
特養・地密特養	0.874	0.817
老健・療養医療	0.783	0.603
訪問介護	2.346	2.043
訪問看護	1.563	1.656
訪問リハビリ	1.223	0.495
居宅療養指導	2.148	2.553
通所・地密通所	0.961	0.985
通所リハビリ	0.952	0.797
短期入所	0.771	1.118
用具貸与・販売	1.383	1.240
住宅改修	1.129	1.441
特定・地密施設	1.019	1.062
居宅介護支援	1.238	1.183
定期・小・看	0.678	0.910
認知症通所	0.832	1.223
認知症 GH	0.793	0.757

※訪問介護・居宅療養管理指導の利用が全国と比べて2倍以上
 福祉用具・住宅改修も多い

現状分析

軽度者、特に要支援1が非常に多い

高齢化の深刻化、現役世代の顕著な減少

一人当たりのサービス利用量が全国一多い

介護保険料の高騰

利用サービス種類の偏り（訪問介護等）

さらに単身世帯、高齢者のみ世帯の増加

対応策①体操の地域展開

【これまでの取組み】

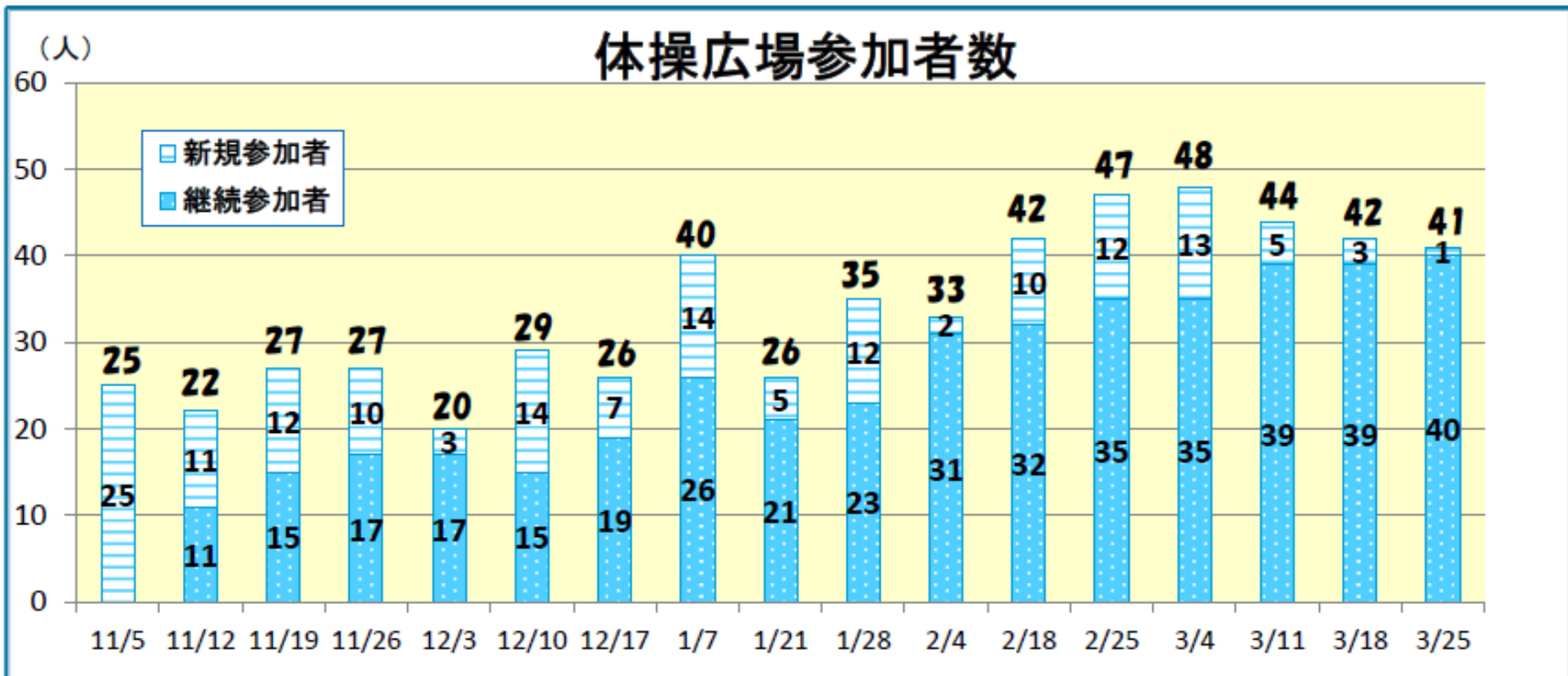
- ①市民音頭に合わせて介護予防体操を制作
- ②市役所旧食堂で毎週月曜日「体操広場」を開催
(H30.11月～H31.3月)
- ③地域住民や介護事業者へ体操の紹介、DVD配布
- ④地区会館等での住民向け介護保険勉強会＋体操の実施
(依頼に応じて随時出張)



「体操広場」の実績

@市役所地下旧食堂

ええとこふじいでら
体操広場

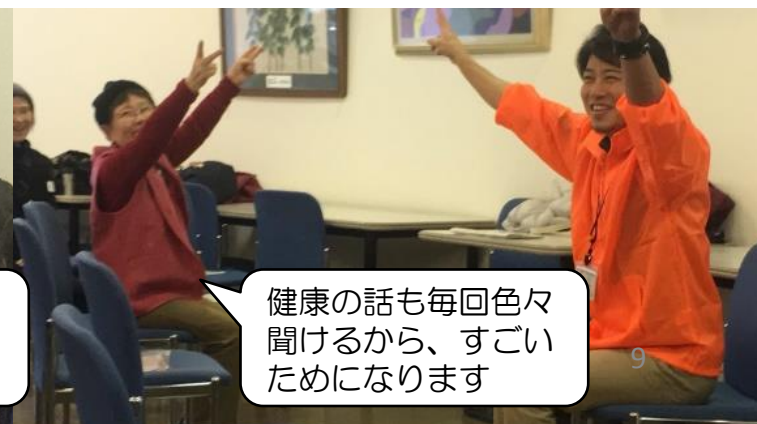
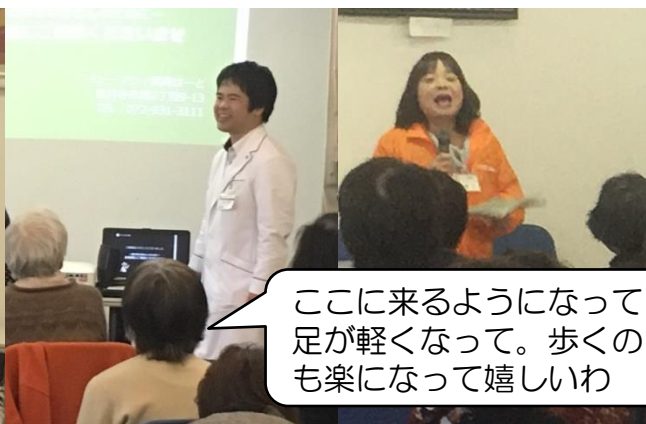


【年齢層】 70代が57%、60代・80代が各約20% 最高齢93歳

【要介護度】 認定なしが81%、要支援1・2が14% ほか

内容・感想

			ミニ講座内容			
回	日にち		メインプログラム	職種	講師担当	テーマ
1	11/5	月	体力測定			
2	11/12	月	ミニ講座	作業療法士	岡本 宗 (メディケア・リハビリ訪問看護ステーション)	人体模型を使った体の話
3	11/19	月	ミニ講座	管理栄養士	杉村 亜希子 (NPO法人はみんぐ南河内)	10項目栄養アセスメント
4	11/26	月	ミニ講座	歯科衛生士	長瀬 京子 (藤井寺歯科衛生士会)	口腔機能、唾液を出す体操
5	12/3	月	体力測定			
6	12/10	月	ミニ講座	保健師	佐藤 福子 (藤井寺市保険年金課)	フレイル危険度クイズ、指輪っかテスト
7	12/17	月	ミニ講座	薬剤師	北中 紀子 (ファーマシ薬局は一と)	お薬手帳、一包化、かかりつけ薬剤師
8	1/7	月	体力測定			
9	1/21	月	ミニ講座	作業療法士	河合 英紀 (希望や訪問看護ステーション)	日本人の特性と認知症の話
10	1/28	月	ミニ講座	管理栄養士	杉村 亜希子 (NPO法人はみんぐ南河内)	食生活習慣、食欲調査
11	2/4	月	体力測定			
12	2/18	月	ミニ講座	薬剤師	神品 勇喜 (ファーマシ薬局)	糖尿病・骨粗鬆症予防、ビタミンD
13	2/25	月	ミニ講座	歯科衛生士	辻 温子 (藤井寺市健康課)	オーラルフレイル対策
14	3/4	月	ミニ講座	保健師	濱口 紀子 (藤井寺市保険年金課)	もし脳梗塞で倒れたら、緊急搬送の備え
15	3/11	月	ミニ講座	管理栄養士	高取 雅美 (NPO法人はみんぐ南河内)	運動のための栄養、試供品配布
16	3/18	月	体力測定			
17	3/25	月	ミニ講座	作業療法士	岡本 宗 (メディケア・リハビリ訪問看護ステーション)	



ここに来るようになって足が軽くなって。歩くのも楽になって嬉しいわ

健康の話も毎回色々聞けるから、すごいためになります

【地域に向けた説明】

- 福祉委員
30/11/17 説明・実技ほか多数
- 民生委員
30/12/19 説明・実技ほか多数
- 区長
30/12/20 説明
31/2/20 全区長にDVD配布
- ボランティア団体
31/5/8説明
- 老人クラブ
31/5/14説明

【メディアでの紹介】

- 30/8/20放映
NHK「ニュースほっと関西」
- 31/3/19掲載
「日本健康応援サイト」
“特集！わが町の健康体操”

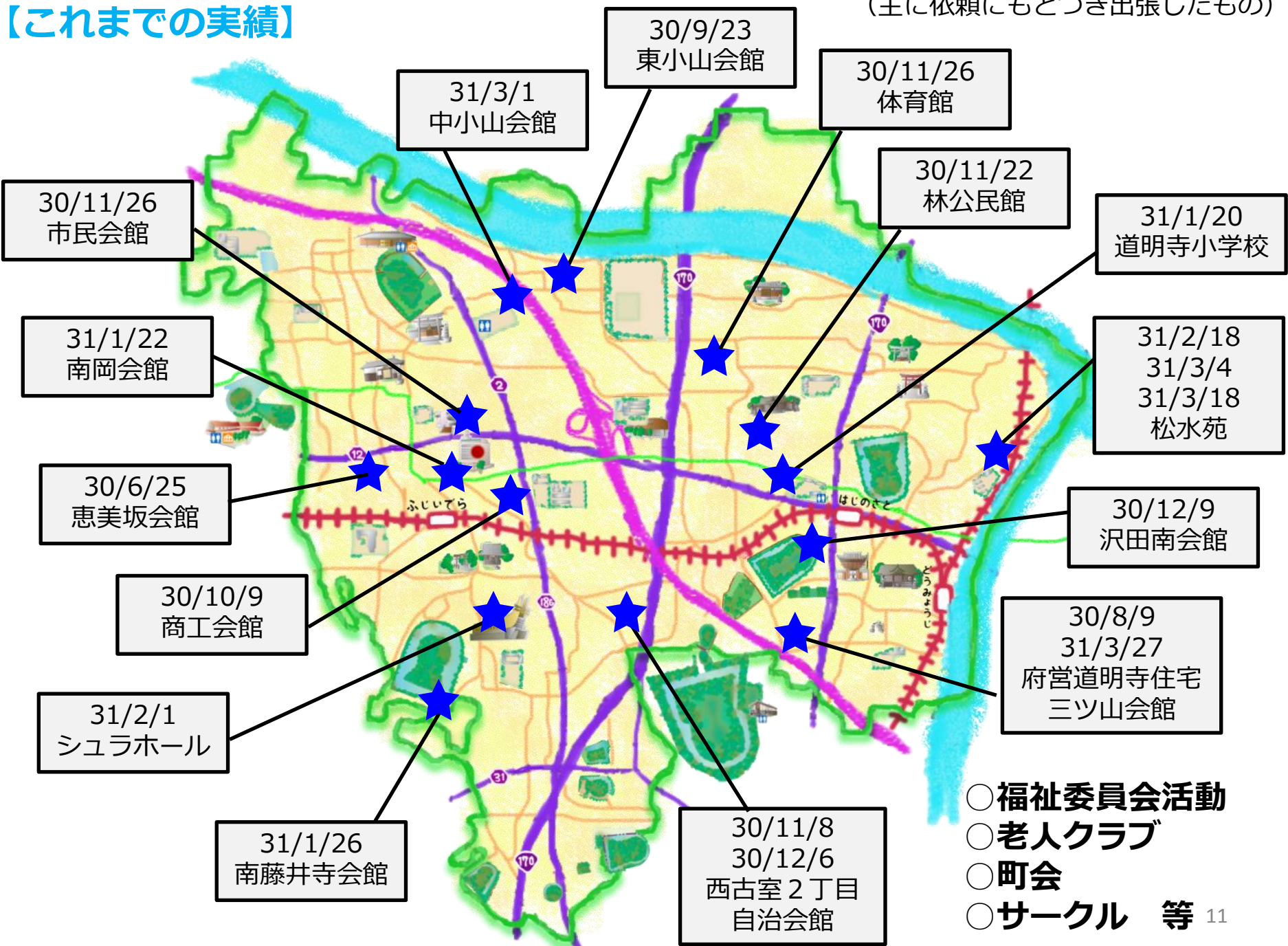


古墳のポーズが難しいけど楽しいわ～！



【これまでの実績】

(主に依頼にもとづき出張したもの)



- 福祉委員会活動
- 老人クラブ
- 町会
- サークル 等 11

【今後の取組み予定】



- ・ 第2弾体操（おもりを用いて筋トレや有酸素運動をじっくり行うバージョン）のDVD化
- ・ 「DVD+人数分のおもり」の貸出セットを用意
- ・ 取り組む意欲のある住民グループから申込を受付
- ・ リハビリ職等の専門職が関与しながら、グループの活動を継続的に支援
- ・ 誰でも参加できる体操の場所をマップ化

➡ 通いの場があちこちにあり、誰でも参加できるように

対応策②同行訪問のルール化

【これまでの取組み】

H28 モデル事業として
リハビリ職との同行訪問を開始

対象ケース：包括で選定したケース

H29 総合事業としてリハビリ職との
同行訪問を継続実施

(地域リハビリテーション活動支援事業)

対象ケース：担当ケアマネからの申込ケース

H30 管理栄養士との同行訪問も開始

対象ケース：担当ケアマネからの申込ケース

+

本人からの申込ケース

訪問型サービスCを開始



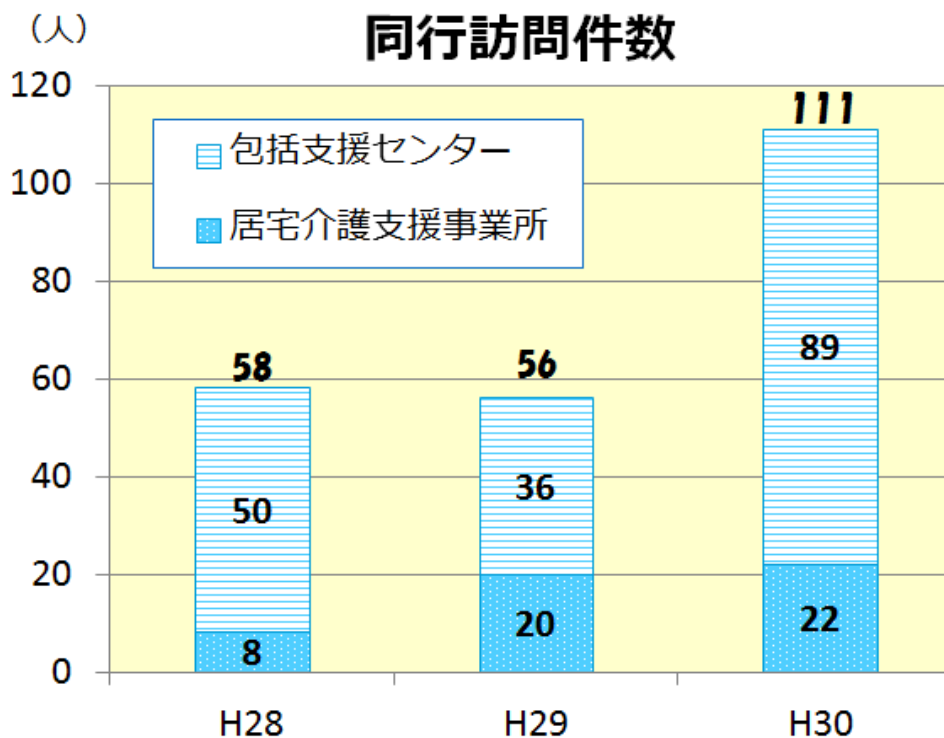
【これまでの実績】

同行訪問延べ件数

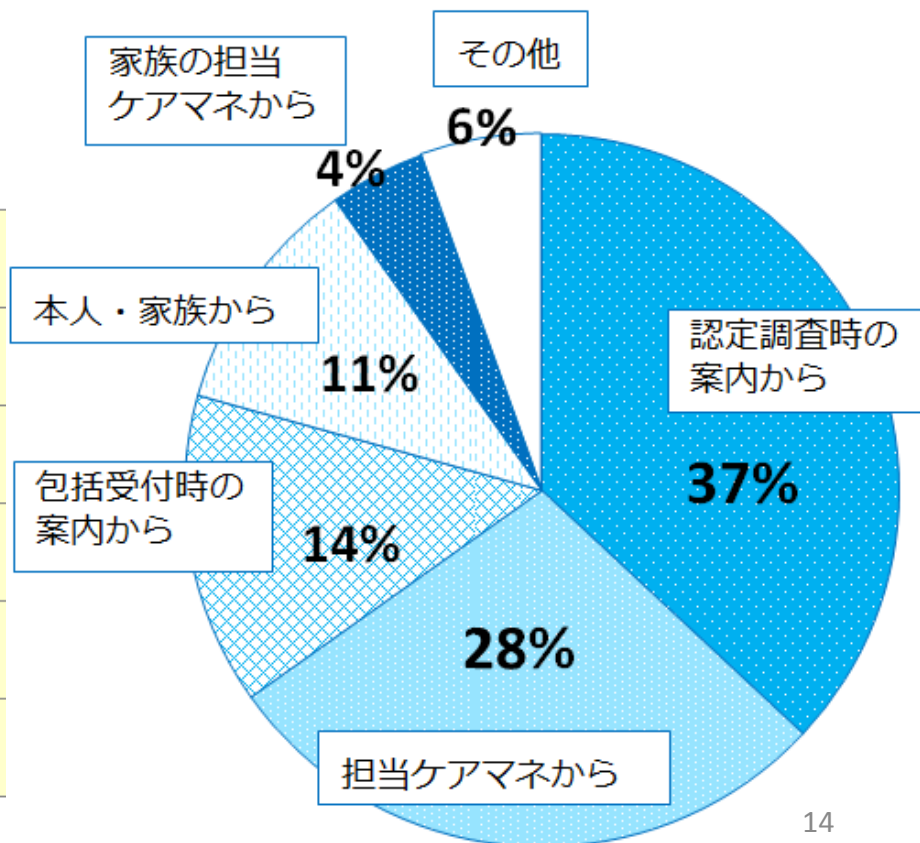
H28	58件		
H29	56件		
H30	111件	運動	89件
		栄養	22件



ケアマネ事業所の内訳



訪問申込ルートの内訳 (H30)



対応策③介護予防大賞コンテスト

【これまでの経緯】

H30年度より

保険者機能強化推進交付金創設

自立支援・重度化防止に取り組むことで、国が都道府県・市町村に対して財政的インセンティブを交付する
(都道府県10億円、市町村190億円)

【藤井寺市の取組み】

交付金を活用し、自立支援に取り組んだ事業所が適切に評価されるよう仕組みづくりについて検討

- ・ 自立支援における現状や課題把握のためのアンケートを実施
(H30年10月～12月)
- ・ 具体的なH31年度の取組みについて検討

2020年2月23日(日)開催

いきいき笑顔コンテスト

いっしょになっても
笑顔いっぱい



みんなにも伝えたい...
私たちの未来を
私のご協力